



器具品番		適合オプション(別売)			適合ポール ^{※5} (別売)
1灯タイプ	2灯タイプ	インナーオプション ^{※2}	フードオプション	ケーブル	
上段用器具 YYY33010	上段用器具 YYY33020	ハニカムルーバー YYY95031	パターンフィルター付きフード こもれば柄 YYY95032 なみ柄 YYY95033	2回路用 ケーブル ^{※4} YYY95040	φ76ポール (2.5m) DYDX2209H
下段用器具 ^{※1} YYY33011	下段用器具 ^{※1} YYY33021	色温度変換 フィルター ^{※3} YYY95039	みずたま柄 YYY95034 はもん柄 YYY95035 スラッシュフード YYY95030		

- ※1) 下段用器具のみの使用はできません。必ず上段用器具と組み合わせて使用してください。
- ※2) ハニカムルーバーと色温度変換フィルターの両方を同時に取り付けることはできません。
- ※3) シンクロ調色タイプのランプを使用する場合、色温度変換フィルターは取り付けできません。
- ※4) 上段用器具と下段用器具を組み合わせ、上段と下段で回路を分ける場合に使用します。
- ※5) ポールの取扱説明書は別途ポールに添付しております。必ずご参照ください。

ランプは別売です。適合ランプは 裏表紙「仕様」をご参照ください。

- ・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。
- ・LEDフラットランプには、取扱説明書(保証書付)が付属されております。LEDフラットランプの取り扱いや保証とアフターサービスについては、LEDフラットランプ付属の取扱説明書をご確認ください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

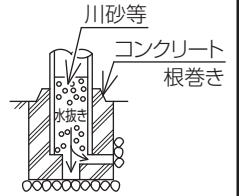
- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると、落下・感電・火災・ポール転倒の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災・ポール折れの原因となります。
- 一般屋外用器具(防雨型)です。振動や衝撃の多い場所(橋や高架上等)、浴室などの湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、塩素を使用する屋内プール等、海岸隣接地域では使用しない。
器具の落下や絶縁不良による感電およびポール折れの原因となります。
- 大雨等で冠水する恐れのある場所、くぼ地等の水のたまる場所には設置しない。又、必ず排水管処理を行う。
浸水による火災・感電の原因となります。
- 器具の耐風速は60m/sです。これ以上の風速の影響を受ける場所では使用しない。落下の原因となります。
- ポールは専用のものを必ず組み合わせて使用する。適合ポール以外に取り付けると器具落下の原因となります。
- 2回路用ケーブルは必ず専用のものを使用する。適合ケーブル以外を使用すると火災・感電の原因となります。
- 落下防止ワイヤーを指定通りに取り付ける。器具落下・機能不良の原因となります。
- 電気設備技術基準にしたがい必ずD種(第3種)接地工事をする。不備があると、感電・火災の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁・防水処理(融着テーピング等)は確実にを行う。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続(ねじり接続等)はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。
- 草木で灯具が覆われるような場所では使用しない。発火の原因となります。
- 上向き照射する場合、パネル上の堆積物は定期的に取り除く。
堆積物によって熱がこもり、堆積物の発火、器具破損による浸水・感電・火災の原因となります。
- 調光非対応タイプのランプを使用の場合、ライトコントロールなどの調光器と組み合わせて使用しない。
火災の原因となります。

注意

- ポールにはしごをかけての施工や、バケット車の使用できないような狭い場所では使用しないでください。
ポールのキズつき、傾き、施工中のけがの原因となります。
バケット車での施工、メンテナンスをお勧めします。器具を施工する際は2人以上で作業を行ってください。
- 周囲温度は、-5~35℃で使用ください。又、施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。
火災・耐用年限が短くなる原因となります。
- 積雪地域でご使用の場合は、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。器具破損の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には設置しないでください。
つらら落下によるけがの原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがの原因となります。

施工前のご確認事項

- ポールの排水処理を行い、下部に川砂などを充填し、湿気が充満しないように施工してください。水が溜まると器具内部に結露が発生します。
- 屋内配線(宅内のプレーカー)に接続して使用してください。
- 昼間の温度差などによりパネル内面に結露を生じる場合がありますが、異常ではありません。点灯すれば解消しますので予めご了承願います。
- かってにスイッチなどの高機能スイッチと組み合わせる場合は、ご使用するランプの起動方式に適合した当社製スイッチであることを確認し、接続方法はスイッチの取扱説明書に従ってください。高機能スイッチの適合および接続台数は、以下のWebサイトよりご確認くださいませ。
- 高機能スイッチのLED照明器具接続台数表
https://www2.panasonic.biz/jp/densetsu/haisen/switch_concent/pdf/daisu.pdf
- EEスイッチ、タイマースイッチなどの適合スイッチおよび接続台数は、以下のWebサイトよりご確認くださいませ。
- EEスイッチ、タイマースイッチなどのLED照明器具接続台数表
<https://www2.panasonic.biz/jp/lighting/home/series/flat-lamp/yuragi/pdf/tekigouswitch.pdf>



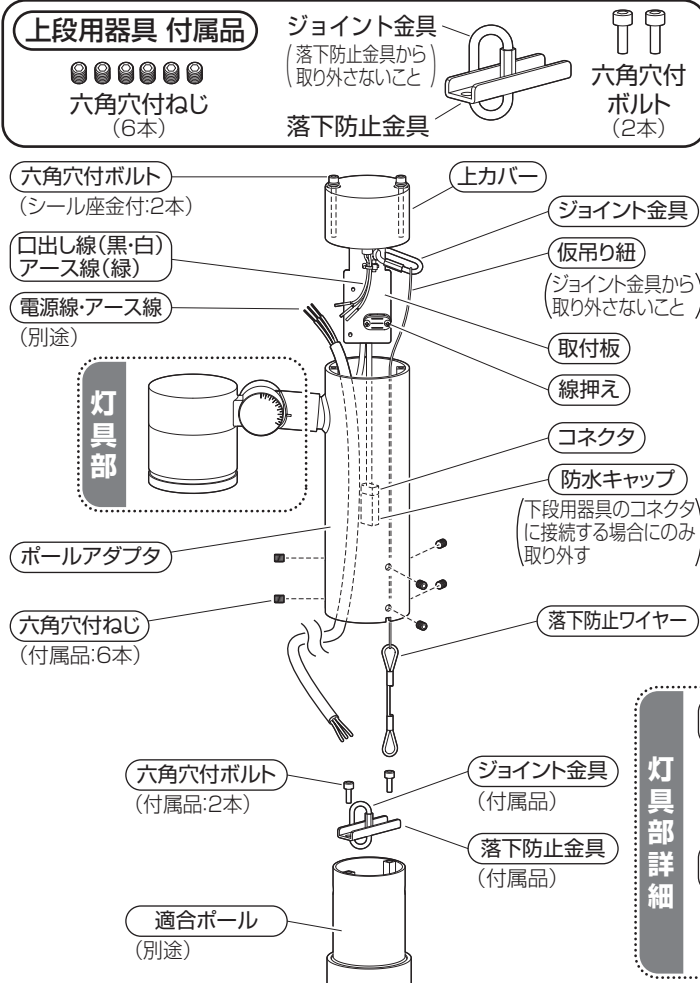
【調光器対応タイプのランプをライトコントロールと接続して使用する場合】

- ご使用するランプの起動方式に適合の当社製ライトコントロールであることをご確認ください。
- 接続方法は、ライトコントロールの取扱説明書に従ってください。
- ライトコントロールの適合および接続台数は、以下のWebサイトよりご確認くださいませ。
- 調光スイッチの調光可能型LED照明器具(LED電球を含む)接続台数表
<https://www2.panasonic.biz/jp/densetsu/haisen/keikaku/tekigo/tekigo.pdf>

各部のなまえ

- ・器具の取り付け・取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。
- ・灯具部を持って器具を持ち上げないでください。器具破損の原因となります。
- ・六角レンチ(呼び4、呼び5)が別途必要です。
- ・フードオプションを使用する場合は六角レンチ(呼び2)が別途必要です。
- ◎図は上段用器具・下段用器具とも1灯タイプの例で説明しています。

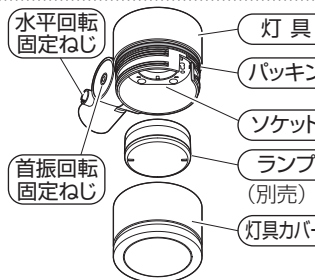
上段用器具



灯具部



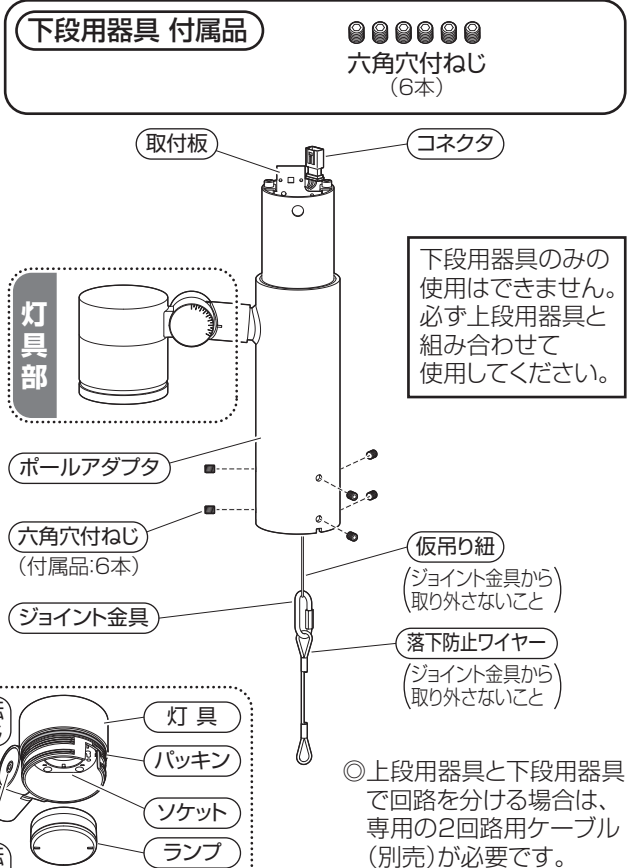
灯具部詳細



警告

施工は、施工説明にしたがい、確実に行う。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

下段用器具



取付方法

- ・上段用器具のみで使用する場合
 または、上段用器具と下段用器具を組み合わせ、同一回路で使用する場合 …… 「取付方法④」3~5ページ参照
- ・上段用器具と下段用器具を組み合わせ、上段と下段で回路を分ける場合 …… 「取付方法⑥」6ページ参照

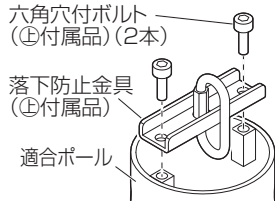
取付方法 ①

①は上段用器具を、②は下段用器具を表します。

① 上段用器具のみで使用する場合 または、上段用器具と下段用器具を組み合わせて同一回路で使用する場合

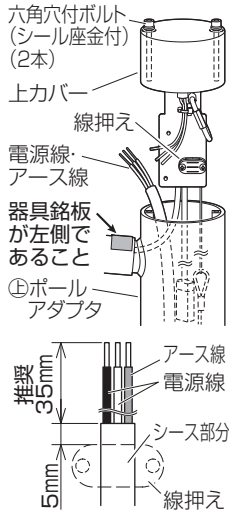
1 適合ポールに落下防止金具を取り付ける

- 六角レンチ(呼び5)にて六角穴付ボルト(2本)を締め付け、落下防止金具を確実に適合ポールに固定する。(推奨締付トルク:12~14N・m)



2 上段用器具に電源線・アース線を通す

- 電源線(別途)は3芯ケーブル(φ2.0、3.5mm²以下)を使用してください。
- ①六角レンチ(呼び5)にて六角穴付ボルト(2本)をゆるめ、上カバーを開ける。
- ②落下防止ワイヤー・仮吊り紐・内部電線に引っ掛けないように注意しながら電源線・アース線を①ポールアダプタに通す。(①ポールアダプタの内壁に沿わせるようにしながら通してください。)
- ③電源線・アース線のシース部分を線押えで固定する。
- 適合ポール側の電源線位置を確認し、電源線長さを設定する。(下段用器具と組み合わせる場合は①ポールアダプタの長さも考慮する。)



①ねじ2箇所を取り外し、線押え(上)を取り外す。

②線押え(上)で線を押しさえる。

③ねじ2箇所を締め付け線押え(上)を固定する。

※出荷時は丸型線止めの状態になっています。

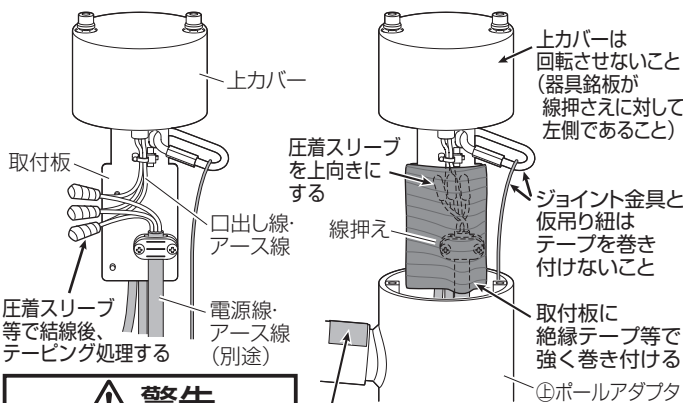
・押しさえ量は、線外径の1/4程度とすること。押しさえ込みすぎると絶縁破壊による感電の原因となります。

◎丸型線の場合 外径(φ9.6mm~φ13mm)

◎平型線の場合 外径(6.2mm×9.4mm ~7mm×15mm)

3 上段用器具に電源線・アース線を接続する

- ①電源線・アース線と器具口出し線・アース線を接続する。
- ②接続部の絶縁、防水処理(融着テーピング等)を確実に行う。
- ・D種(第3種)接地工事が必要。
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- ・口出し線の線種:架橋ポリエチレン電線(線径:0.75mm²)
- ・アース線の線種:塩化ビニル電線(線径:1.25mm²)

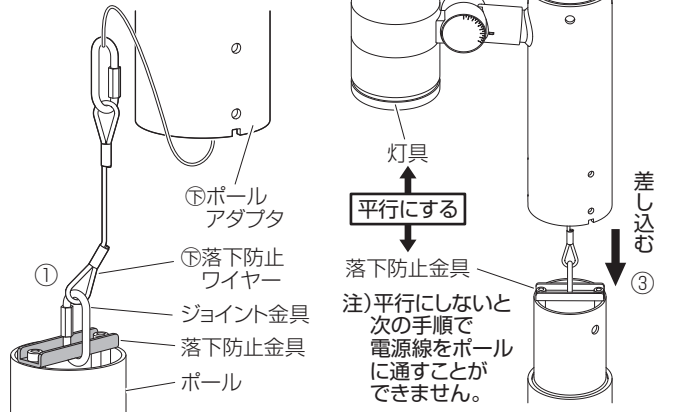


警告
接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

- ③結線後、器具銘板が線押えに対して左側であることを確認し、上カバーを回転させずに①ポールアダプタに差し込む。(六角穴付ボルトは締め付けしないでください。)

4 ②落下防止ワイヤーを取り付ける

- ①②落下防止ワイヤーをポールに取り付けた落下防止金具のジョイント金具に通し、ジョイント金具を確実に締め付ける。
- ②仮吊り紐を引き、②落下防止ワイヤーを引き上げながら
- ③灯具と落下防止金具が平行になるようにして②ポールアダプタをポールに差し込む。ワイヤーや仮吊り紐のかみ込みに注意しながら行ってください。



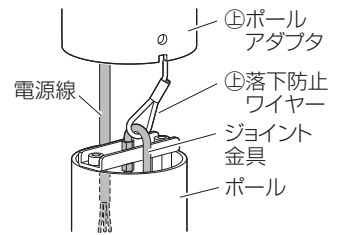
◎仮吊り紐を引いても落下防止ワイヤーが引き上げられない場合は5ページ「仮吊り紐が引き上げられない場合」をご参照ください。

5 ③落下防止ワイヤーを取り付ける

取り付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。

上段用器具のみで使用する場合

- ①ポールアダプタからの電源線をポール内に通す。
- ②落下防止ワイヤーをポールのジョイント金具に通し、ジョイント金具を確実に締め付ける。

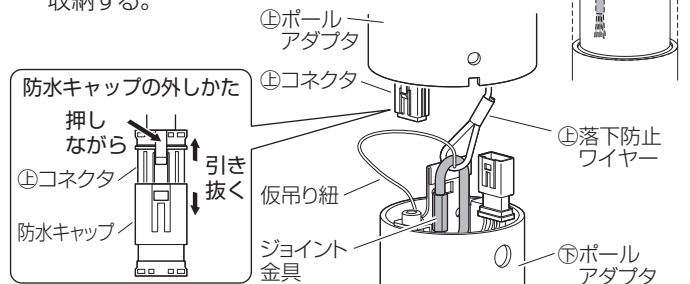


下段用器具と組み合わせて使用する場合

- ①ポールアダプタからの電源線を②ポールアダプタに挿入し、ポール内に通す。

電源線は斜線部分に挿入すること

- ③コネクタから防水キャップを取り外す。
- ④ポールアダプタの仮吊り紐を引き、ジョイント金具を引き上げる。
- ⑤落下防止ワイヤーをジョイント金具に通し、ジョイント金具を確実に締め付ける。
- ⑥ポールアダプタ内に仮吊り紐を収納する。



◎仮吊り紐を引いてもジョイント金具が引き上げられない場合は5ページ「仮吊り紐が引き上げられない場合」をご参照ください。

取付方法 ① (続き)

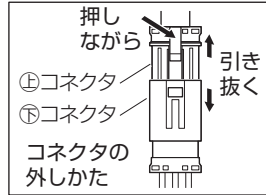
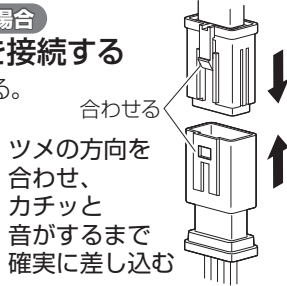
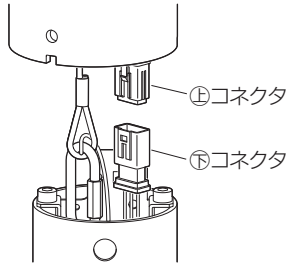
・④は上段用器具を、⑥は下段用器具を表します。

① 上段用器具のみで使用する場合 または、上段用器具と下段用器具を組み合わせて同一回路で使用する場合 (続き)

下段用器具と組み合わせて使用する場合

6 上段用器具と下段用器具を接続する

- ・④コネクタを⑥コネクタに接続する。
- 接続が不完全な場合、点灯不良の原因となります。



9 上カバーを固定する

- ・仮吊り紐をポールアダプタ内部に押し込み、上カバーをポールアダプタに差し込む。
- ・六角レンチ(呼び5)にて六角穴付ボルト(2本)を締め付け、上カバーを確実にポールアダプタに固定する。(推奨締め付トルク:12~14N・m)



10 ポールアダプタを固定する

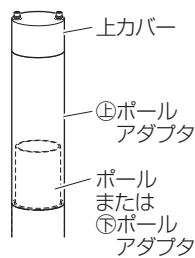
- ・ポールアダプタを水平に回し、灯具をお好みの方向にする。
- ・六角レンチ(呼び4)にて六角穴付ねじを締め付け、ポールアダプタを固定する。(推奨締め付トルク:7.1~9.1N・m)
- 取り付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。

7 ④ポールアダプタを仮置きする

- 注)電源線のかみ込みがないよう注意しながら行ってください。漏電や感電の原因となります。

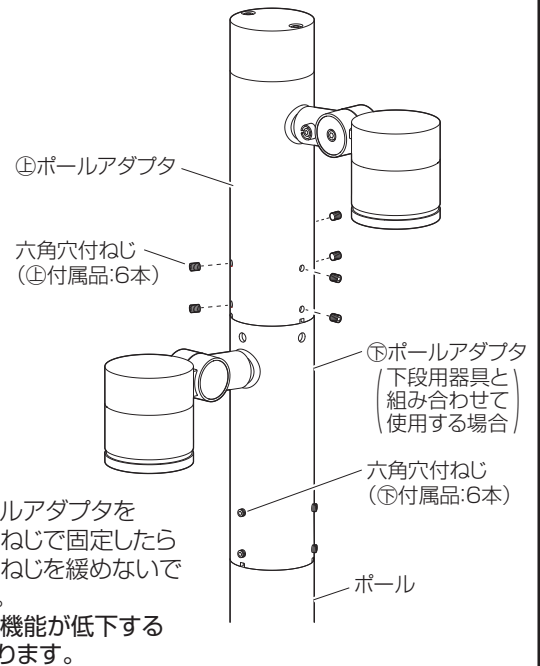
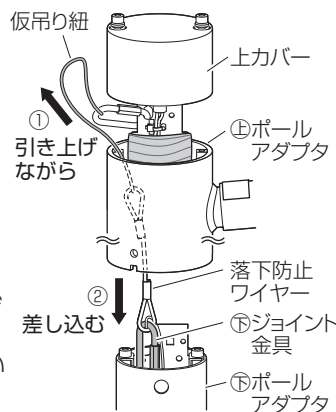
上段用器具のみで使用する場合

- ・④ポールアダプタをポールに差し込む。



下段用器具と組み合わせて使用する場合

- ① 上カバーを持ち上げ、仮吊り紐を引き、落下防止ワイヤーを引き上げる。
- ② ⑥ジョイント金具が引き出されている状態で④ポールアダプタを⑥ポールアダプタに差し込む。
- ③ 仮吊り紐を引いても落下防止ワイヤーが引き上げられない場合は、5ページ「仮吊り紐が引き上げられない場合」をご参照ください。

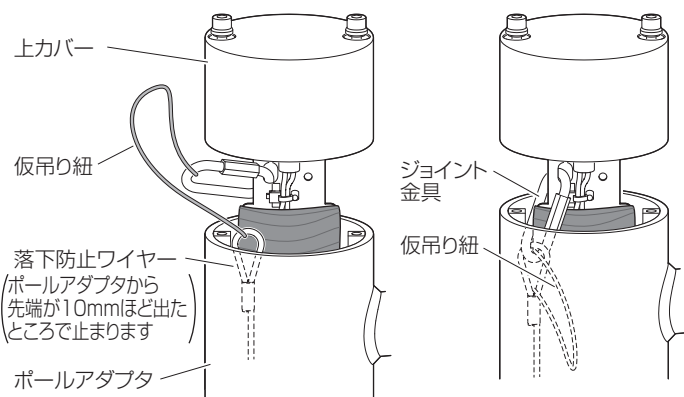


- ・一度ポールアダプタを六角穴付ねじで固定したら六角穴付ねじを緩めないでください。緩み止め機能が低下する原因となります。

8 落下防止ワイヤーを上カバーに取り付ける

- ・ポールアダプタから上カバーを持ち上げる。
- ・仮吊り紐を引き、落下防止ワイヤーを引き上げる。
- ・落下防止ワイヤーを上カバーのジョイント金具に通し、ジョイント金具を確実に締め付ける。

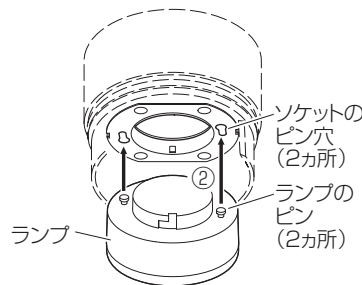
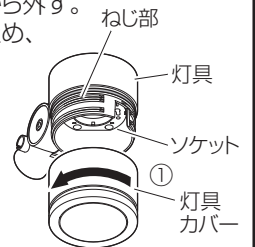
取り付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。



11 ランプ(別売)を取り付ける

- ・灯具カバーの取り付け取り外しにはゴム付手袋の着用を推奨します。

- ① 灯具カバーを矢印方向に回し、灯具から外す。
- ・灯具側はねじ部が2段になっているため、灯具カバーを軽く引張るようにしながら回してください。
- ② ソケットのピン穴にランプのピンを入れる。
- ③ ランプのツメに指を引っ掛け、カチッと音がするまで矢印方向に回して、確実に取り付け。(回転角度約15°)

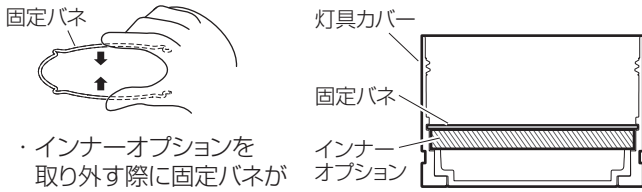
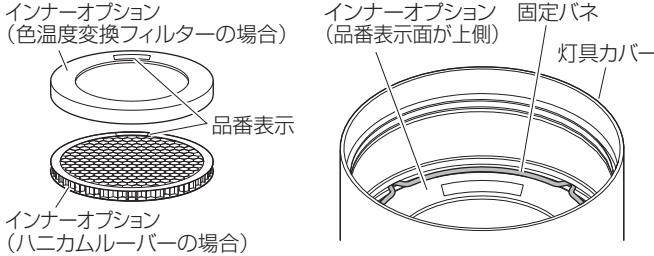


取付方法 A (続き)

A 上段用器具のみで使用する場合 または、上段用器具と下段用器具を組み合わせ同一回路で使用する場合 (続き)

12 インナーオプション(別売)を取り付ける

- 品番表示面を上側にして、
灯具カバーの内部にインナーオプションを入れる。
- 固定バネ(インナーオプション同梱品)の両端をつまんで
押し縮め、灯具カバー内部の溝にはめ込む。

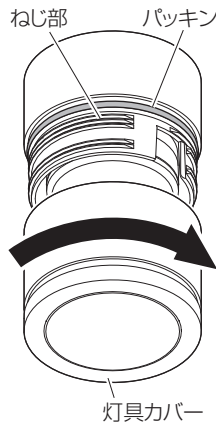


- インナーオプションを取り外す際に固定バネが取り外しにくい場合は、インナーオプションを傷つけないように注意しながらラジオペンチなどで固定バネをつまみ上げてください。

13 灯具カバーを取り付ける

- パッキンが灯具のねじ部の根元まではまっていることを確認する。
- 灯具カバーを矢印方向に回して
灯具にねじ込み、
灯具に平行にしてまっすぐゆっくり
灯具カバーを回転させ
確実に取り付ける。
- 灯具側はねじ部が2段になっています。
灯具カバーが止まるまで確実に
締め付けてください。

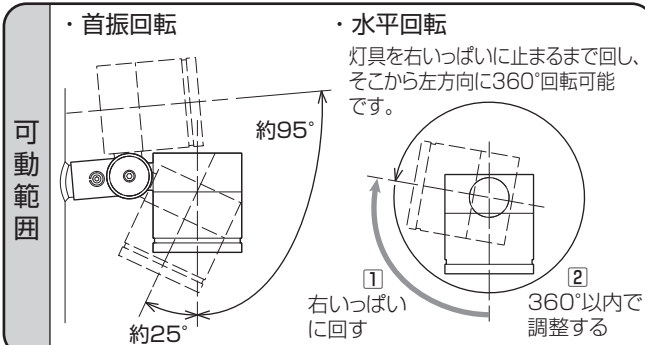
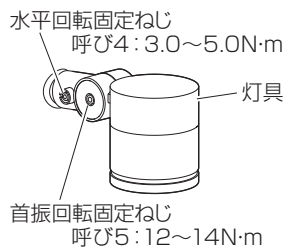
灯具カバーの締め付けが不完全な場合、落下によるけがや浸水による火災、感電のおそれがあります。



14 照射方向を調節する

注) 回転範囲以上無理に回転させないでください。

- 火災・落下の原因となります。
- 六角レンチにて水平回転・首振り回転の両固定ねじをゆるめて、
点灯直後に調節を行う。
(下記「可動範囲」参照)
- 角度調整後、水平回転・首振り回転の両固定ねじを
確実に締め付けてください。
(推奨締め付トルクは右図参照)
- 締め付けが不完全な場合、灯具首タレ・回転の原因となります。

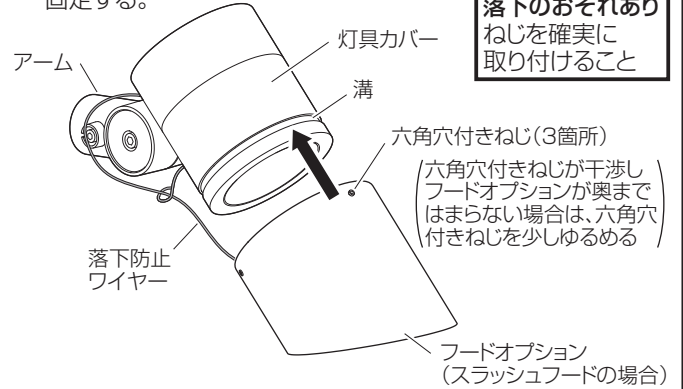


15 フードオプション(別売)を取り付ける

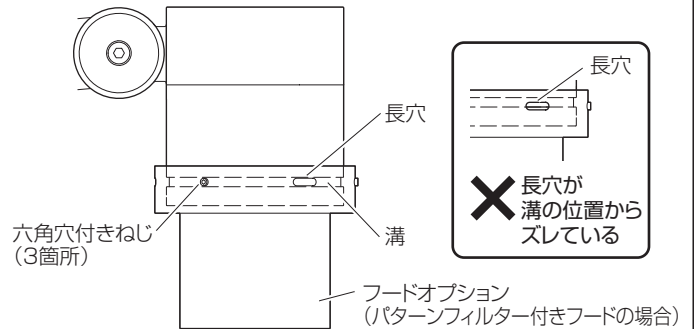
- 落下防止ワイヤーの輪を広げ灯具に通し、
アームのところで輪を縮める。
- 灯具カバーにフードオプションをかぶせ、
フードオプションの六角穴付きねじ(3箇所)が
灯具カバーの溝の位置に来るようにする。
- 六角レンチ(呼び2: 0.4~0.6N・m)にて
六角穴付きねじ(3箇所)を締め付け
固定する。

警告

落下のおそれあり
ねじを確実に
取り付けること



- パターンフィルター付きフードの場合、
長穴が溝の位置に来るまで
灯具カバーにしっかり押し当ててください。

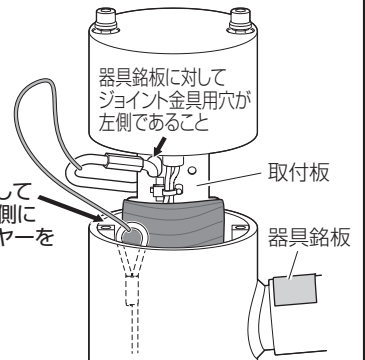


仮吊り紐が引き上げられない場合

ポールアダプタの仮吊り紐を引いてもその先のジョイント金具や落下防止ワイヤーが引き上げられない場合は、ポールアダプタ内部で内部電線と絡まっていることが考えられます。

絡まりをほどこき、ポールアダプタ上部から落下防止ワイヤーを一旦取り出してから、再度ポールアダプタ内に落下防止ワイヤーを通してください。

<①ポールアダプタの場合>



<②ポールアダプタの場合>



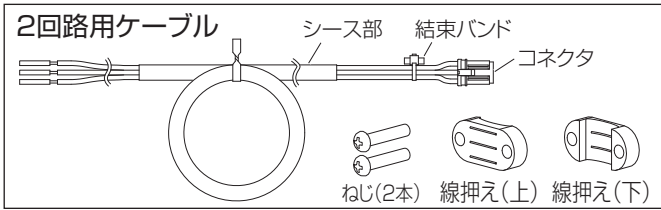
内部電線に引っ掛けないように注意し、ポールアダプタの内壁に沿わせるようにしながら落下防止ワイヤーを挿入する。

取付方法 ⑧

・④は上段用器具を、⑥は下段用器具を表します。

⑧ 上段用器具と下段用器具を組み合わせ、上段と下段で回路を分ける場合

- 2回路用ケーブル(別売)は必ず専用のものを使用する。

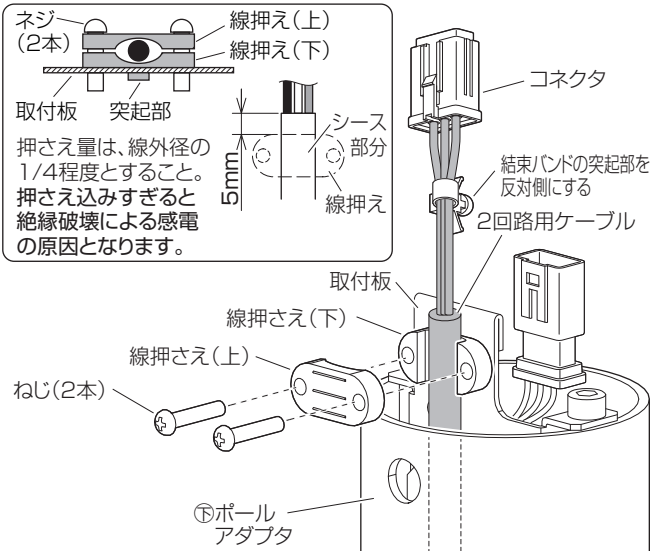


- 3ページ **手順 1~3** を参照し、

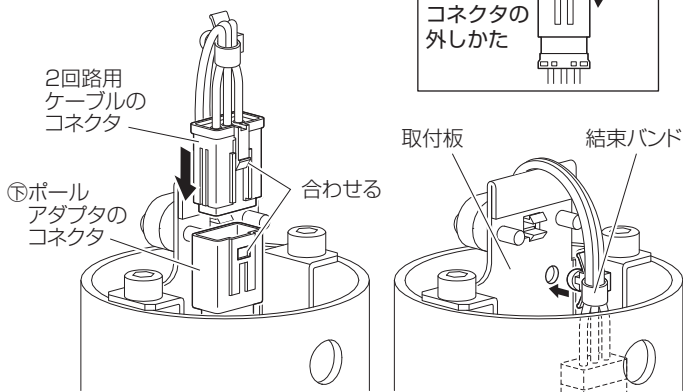
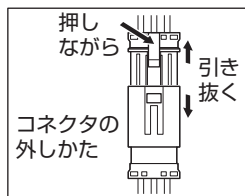
- 1 適合ポールに落下防止金具を取り付ける
 - 2 上段用器具に電源線・アース線を通す
 - 3 上段用器具に電源線・アース線を接続する
- を行う。

4 下段用器具に適合2回路用ケーブルを接続する

- ・コネクタを上側にして2回路用ケーブルを⑥ポールアダプタに通す。
- ・線押さえ(下)(2回路用ケーブル同梱品)の突起部を取付板にはめ込み固定する。
- ・線押さえ(上)(2回路用ケーブル同梱品)で2回路用ケーブルのシース部分を押し、ねじ(2本)(2回路用ケーブル同梱品)で固定する。

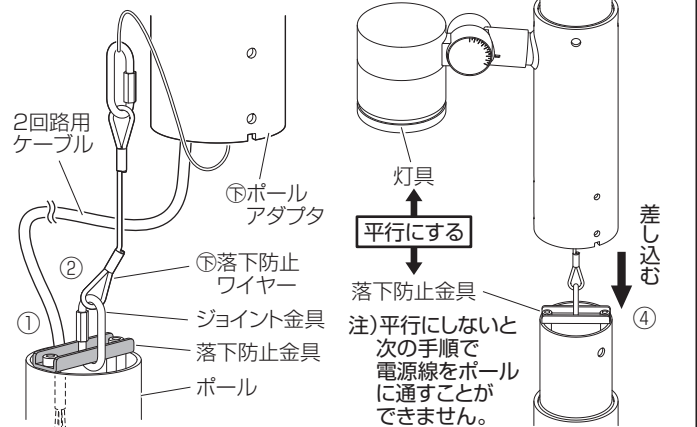


- ・2回路用ケーブルのコネクタを⑥ポールアダプタのコネクタに差し込み接続する。接続が不完全な場合、点灯不良の原因となります。
- ・結束バンドの突起部を取付板にはめ込み固定する。



5 ⑥落下防止ワイヤーを取り付ける

- ① 2回路用ケーブルをポール内に通す。
- ② ⑥落下防止ワイヤーをポールに取り付けた落下防止金具のジョイント金具に通し、ジョイント金具を確実に締め付ける。
- ③ 仮吊り紐を引き、⑥落下防止ワイヤーを引き上げながら
- ④ 灯具と落下防止金具が平行になるようにして⑥ポールアダプタをポールに差し込む。ワイヤーや仮吊り紐、2回路用ケーブルのかみ込みに注意しながら行ってください。

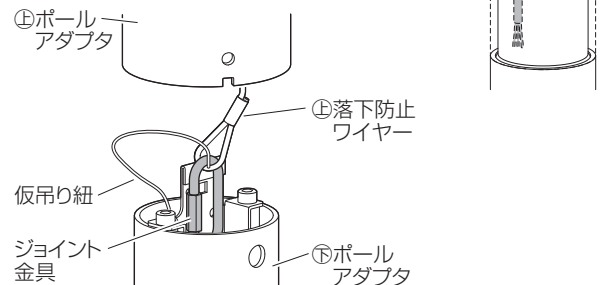


- 仮吊り紐を引いても落下防止ワイヤーが引き上げられない場合は5ページ「仮吊り紐が引き上げられない場合」をご参照ください。

6 ④落下防止ワイヤーを取り付ける

- ・④ポールアダプタからの電源線を⑥ポールアダプタの線押さえ側に挿入し、ポール内に通す。
- ・⑥ポールアダプタの仮吊り紐を引き、ジョイント金具を引き上げる。
- ・④落下防止ワイヤーをジョイント金具に通し、ジョイント金具を確実に締め付ける。
- ・⑥ポールアダプタ内に仮吊り紐を収納する。

取り付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。



- 仮吊り紐を引いてもジョイント金具が引き上げられない場合は5ページ「仮吊り紐が引き上げられない場合」をご参照ください。

- この後の施工については4ページ **手順 7** 以降を参照して行ってください。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 上向き照射する場合、パネル上の堆積物は定期的に取り除く。
堆積物によって熱がこもり、堆積物の発火、器具破損による浸水・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼する。
そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 器具に振動や衝撃を与えないでください。器具破損による不点・感電・火災の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って器具が十分に冷えてから行ってください。やけど・感電の原因となります。
- 積雪地域で使用する場合、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。器具破損の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、器具の縁などにつららができることがあります。つららの除去を行ってください。
つらら落下によるけがの原因となります。
- 草や木の近くに器具を設置する場合は、除草剤や肥料がかからないようにしてください。万が一器具に除草剤や肥料がかかってしまった場合水で洗い流してください。除草剤や肥料により器具が腐食し、浸水による感電・不点の原因となります。
- 照明器具には耐用年限があります。設置して10年^(※1)経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。 ※1:使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
LED光源は光束維持時間が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。
点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下に至る場合があります。
 - ・点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

- ・フードオプションを取り付けた場合、ゴミなどが溜まり易くなるため、定期的な清掃をしてください。
- ・日中は点灯しないでください。耐用年限が短くなる原因となります。
- ・点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- ・ランプはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ・ランプを交換しても点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店にご相談ください。
- ・ランプの機能に関するお取扱いや仕様は、ランプの取扱説明書をご確認ください。
- ・器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- ・器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

お手入れ

<器具の清掃について>

- ・水または中性洗剤を用いて、器具外郭などの汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。
- ・ホース水流で洗浄しないでください。浸水の原因となります。



⚠ 注意

必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因になります。

保証について

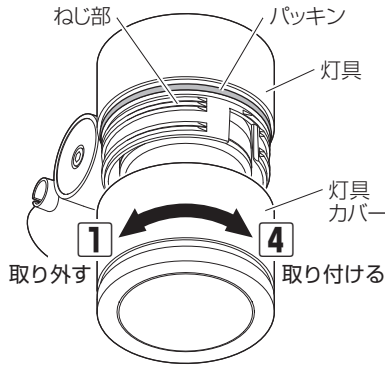
- ・保証について…… この商品の保証期間は1年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について…… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品…… 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
の保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

ランプを交換する

- ・ランプの明るさが低下するとランプの寿命です。ランプを交換してください。
- ・交換ランプは、取り外したランプの背面表示を確認ください。
- ・交換ランプはパナソニック製ランプを推奨します。同じ種類、ワット数のランプでおすすめ以外のものを使用された場合、短寿命・故障の原因となることがあります。また、保証の対象外となります。
- ・ご使用以外のランプに交換される場合は、器具に適合するランプであることをご確認ください。適合するランプは、適合ランプ表をご参照ください。ご使用のスイッチ、ライトコントロールとの適合も合わせて必ずご確認ください。
- ・灯具カバーの取り付け取り外しにはゴム付手袋の着用を推奨します。

1 灯具カバーを取り外す

- ・灯具カバーを左方向に回し、灯具から外す。
- ・灯具側はねじ部が2段になっているため、灯具カバーを軽く引張るようにしながら回してください。



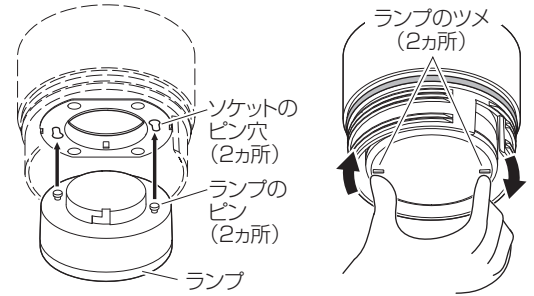
2 ランプを取り外す

- ・ランプのツメに指を引っ掛け、カチッと音がするまでランプを矢印方向に回す。(回転角度約15°)



3 新しいランプを取り付ける

- ・ソケットのピン穴にランプのピンを入れる。
- ・ランプのツメに指を引っ掛け、カチッと音がするまで矢印方向に回して、確実に取り付ける。(回転角度約15°)



4 灯具カバーを取り付ける

- ・パッキンが灯具のねじ部の根元まではまっていることを確認する。
 - ・灯具カバーを矢印方向に回して灯具にねじ込み、灯具に平行にしてまっすぐぐゅっくり灯具カバーを回転させ確実に取り付ける。
 - ・灯具側はねじ部が2段になっています。灯具カバーが止まるまで確実に締め付けてください。
- 灯具カバーの締め付けが不完全な場合、落下によるけがや浸水による火災、感電のおそれがあります。

仕様

器具品番	灯具	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	口金
YYY33010 YYY33011	1灯タイプ	AC100V	50/60Hz 共用	※ 8.0W	※ 0.13A	GX53-1
YYY33020 YYY33021	2灯タイプ			※ 16W	※ 0.26A	

※消費電力、入力電流は組み合わせ可能な最大定格のランプを使用した場合です。

適合ランプ表

	適合ランプ (別売) LDF8まで
LEDフラットランプφ70 口金: GX53-1 外径: 70mm	LLD (2020・3020・2020M・3020M) (L・V・N) (CE1・CB1) LLD (2020・3020) CU1 LLD2020 (6・7) CM1 LLD2020LCT1 LLD3020 (L・N) CT1

- ランプの寿命は、40,000時間です。(照明器具の耐用年限とは異なります。) ランプの寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
- ランプ、および器具本体の取扱説明書をよくお読みください。
- ランプの取扱説明書には保証書が付いております。大切に保管してください。
- ランプの種類はランプの背面表示をご確認ください。
- 使用ランプと異なるランプと交換される場合、壁スイッチやライトコントロールなどの適合を必ず確認のうえ交換してください。
- 最新の適合ランプ情報は、Webサイトをご参照ください。



■LEDフラットランプ適合サイト
<https://www2.panasonic.biz/jp/lighting/home/tools/search/flat-lamp/>

■リサイクル 照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル) 【受付時間】月～土 / 9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) [Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)]

KE0825-00